

どうぶつの赤ちゃん① **こたえ** 名まえ

○上の文しやうを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

ライオンの 赤ちゃんは、生まれた
ときは、子ねこぐらいの 大きさです。

目や耳は、とじた ままです。ライオンは、
どうぶつの 王さまと いわれます。

けれども、赤ちゃんは、よわよわしくて、
おかあさんに あまり にて いません。

ライオンの 赤ちゃんは、じぶんでは
あるく ことが できません。よそへ

いく ときは、おかあさんに、口に くわ
えて はこんで もらうのです。

ライオンの 赤ちゃんは、生まれて

二か月ぐらいは おちちだけ のんで

いますが、やがて、おかあさんの とった
えものを たべはじめます。一年ぐらいた

つと、おかあさんや なかまが するのを
見て、えものの とりかたを おぼえま

す。そして、じぶんで つかまえて たべ
るようになります。

一、ライオンの赤ちゃんは、生まれた
ばかりのときは、どんなようすを
して いるのでしょうか。

・ (**子ねこ**) ぐらいの大きさ

・ 目や耳は、 (**とじたまま**)

・ おかあさんに

(**あまりに** いて いません。)

二、ライオンの赤ちゃんは、どのように
して、大きくなっていくのでしょうか。

・ じぶんでは (**あるくこと**) が
できません。

・ 生まれて (**二か月ぐらい**) は
おちちだけ のんで います

・ (**一年ぐらい**) たつと、おかあさ
んや なかまが するのを見て、

(**えもののとりかた**) をおぼえます。

三、ライオンの 赤ちゃんに ついて、
おもった ことを かきましよう。

どうぶつの赤ちゃん②

名まえ（

）

○上の文しやうを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

しまうまの 赤ちゃんは、生まれた

ときに、もう やぎぐらいの 大きさが

あります。目は あいて いて、耳も び

んと たって います。しまの もようも

ついていて、おかあさんにそっくりです。

しまうまの 赤ちゃんは、生まれて

三十ぷんも たたない うちに、じぶんで

たち上がります。そして、つぎの 日には、

はしるようになります。だから、つよい

どうぶつに おそわれても、おかあさんや

なかまと いっしょに にげる ことが

できるのです。

しまうまの 赤ちゃんが、おかあさんの

おちちだけ のんで いるのは、たった

七日ぐらいの あいだです。その あと

は、おちちも のみますが、じぶんで 草

も たべるように になります。

一、しまうまの赤ちゃんは、生まれた

ばかりのときは、どんなようすを

して いるのでしょうか。

・もう（ やぎ ）ぐらいの大きさ

・目は（ あいていて、 ）

耳も（ ぴんとたっています。 ）

・おかあさんに（ そっくりです。 ）

二、しまうまの赤ちゃんは、どのように
して、大きくなっていくのでしょうか。

・生まれて（ 三十ぷん ）もたたない
うちに、じぶんで（ たちあがります。 ）

そして、（ つぎの日 ）には、はしるよ
うになります。

・おちちだけ のんでいるのは、たった
（ 七日ぐらい ）のあいだです。

・その あとは、おちちものみますが、
じぶんで（ 草もたべるようになります。 ）

三、しまうまの 赤ちゃんに ついて、
おもった ことを かきましよう。

どうぶつの赤ちゃん③

名まえ（

）

○上の文しやうを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

カンガルーの 赤ちゃんは、生まれた

ときは、たいへん 小さくて、一円玉ぐら

いの おもさです。目も 耳も、どこに

あるのか、まだ よく わかりません。

はつきり わかるのは、口と まえあしだ

けです。

それでも、この 赤ちゃんは、小さな

まえあしで、おかあさんの おなかに

はい上がって いきます。そして、じぶん

の力で、おなかの ふくろにはいります。

カンガルーの 赤ちゃんは、小さくても、

おかあさんの おなかの ふくろに ま

もられて あんぜんなのです。

カンガルーの 赤ちゃんは、ふくろの

中で、おかあさんの おちちを のんで

大きく なります。そうして、六か月ほど

たつと、ふくろの そとに 出て、じぶん

で 草も たべるようになります。

一、カンガルーの赤ちゃんは、生まれた

ばかりのときは、どんなようすを

して いるのでしょうか。

・（一円玉）ぐらいのおもさ

・目も耳も、どこにあるのか、

（まだよくわかりません。）

・はつきりわかるのは、

（口とまえあし）だけです。

二、カンガルーの赤ちゃんは、どのよう
にして、大きくなっていくのでしょ
う。

・（じぶんの力）で、おなかのふくろ
にはいります。

・（ふくろの中）で、おかあさんの
おちちを のんで 大きく なります。

・（六か月ほど）たつと、ふくろの
そとに出て、じぶんで

（草もたべるようになります。）

三、カンガルーの赤ちゃんについて、
おもった ことを かきましよう。

どうぶつの赤ちゃん④

名まえ（

）

○プリントの ①②③を 見ながら かんがえましょう。

一、ライオン、しまうま、カンガルーの中で、どの 赤ちゃんが すごいと おもいますか。

ぼくは、
わたしは、

（れい）しまうま

の赤ちゃんが すごいと おもいます。

二、すごいと おもう りゆうを かきましよう。

どうしてかというと、

生まれて、三十ふんもたたないうちに、じぶんでたち上がって、
つぎの日には、もう、はしれるようになってる

からです。

三、カンガルーの 赤ちゃんは、ライオンと しまうま、どちらの 赤ちゃんに
いるとおもいますか。

ぼくは、
わたしは、

（れい）ライオン

の赤ちゃんに いると おもいます。

四、にていると おもう りゆうを かきましよう。

どうしてかというと、

生まれたばかりのようすが、おかあさんと、あまりにいていないから
です。それに、おかあさんのふくろの中に入って、はこんでもらう

からです。

どうぶつの赤ちゃん⑤

名まえ（

）

一、□にあてはまる かん字をかきま
しょう。

① 赤 あか
ちゃん

② 生 う
まれる。

③ 耳 みみ
や
口 くち

④ 一 いち
年 ねん
生 せい

⑤ 草 くさ
をとる。

⑥ 右 みぎ
足 あし

⑦ 文 も
字 じ
をかく。

二、（ ）にあてはまる ことばを

から えらんで かきましよう。

① 口に（くわえる）。

② （えもの）をとる。

③ （ たった ） 七日の あいだ

④ 三十ぶんも（ たたない ）うちに

たった くわえる えもの たたない

三、つぎの 文しように、かん字の

まちがいが、六かしがあります。まち

がっている かん字に △をつけて、

正しい かん字を かきましよう。

△学校の すなばで、きれいな△を
△つけました。

・きょうは、△おきをして、さんぽ
に△かけました。いえに△△って
から手を あらいました。

学

石

見

早

出

入

だってだつてのおばあさん①名まえ)

こたえ

○上の文しやうを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

この いえには、おばあさんと 一ぴきの ねこが すんで いました。おばあさんは、とても おばあさんで、九十八さいでした。ねこは、げんきな 男の ねこでした。

ねこは、まい日、ぼうしを かぶって、ながぐつを はいて、つりぎおを もって、さかなつりに いきました。ねこは、まい日、

「おばあちゃんも、さかなつりに おいでよ。」と さそいました。おばあさんは、

「だって、わたしは 九十八だもの。九十八のおばあさんが さかなつりを したら、にあわないわ。」

と ことわりました。

ねこは、それでも、げんきに さかなつりに 出かけました。そして、おばあさんは、まどの 下の いすに すわって、はたけで とれた まめの かわを おいたり、おひるねを したり しました。

「だって、わたしは 九十八だもの。」

ねこは、まい日、たくさん さかなを つつかえりました。おばあさんは、ねこにいました。「なんて、おまえは、さかなつりが じょうずなんだろう。およいで とるのかい。どこの川で とるんだい。」

ねこは、
「おばあちゃんも いっしょに くれれば、ぼくが さかなを とる ところ、 見られるのに。」
といいました。

光村図書「だってだつてのおばあさん」より

一、おばあさんは、どんな おばあさんで、ねこは、どんな ねこ ですか。

・ (九十八) さいの おばあさん

・ (げんきな男) のねこ

二、ねこは、まい日、なんと いって、おばあさんを さそっていますか。

「おばあちゃんも、さかなつりに おいでよ。」

三、おばあさんは、まい日、なんと いって、ことわって いますか。

「だって、わたしは九十八だもの。九十八のおばあさんがさかなつりをしたら、にあわないわ。」

四、おばあさんは、まい日 なにを していますか。

・ はたけでとれた

(まめのかわをむいたり)、

(おひるねをしたり) しました。

五、ねこは、おばあさんのことを、
どうおもって いるでしょう。あうものに ○をつけましよう。

(○) いっしょにさかなつりにいきたいな。

() さかなつりに きてほしくないな。

() いっしょに いたくないな。

だってだってのおばあさん②名まえ（

こたえ

○上の文しよを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

さて、きょうは、おばあさんの 九十九さいのおたんじょう日です。おばあさんは、あさから ケーキを つくりました。ねこは、おばあさんの つくる ケーキが 大すきでした。

「おばあちゃん、ケーキをつくるの、じょうずだね。」

「だって、わたしはおばあちゃんだもの。」

おばあちゃんは、ケーキをつくるのが

じょうずなものよ。」

おばあさんは、ねこに
いました。

「ろうそくを かって きて おくれ。」

九十九本だよ。ろうそくをかぞえなくっちゃ、ほんとうのおたんじょう日じゃないもの。」

ねこは、ろうそくを
かいに
いきました。

いそいで、いそいで、大いそぎで
いきました。

いい
においが
して
きました。

「ふん、ふん、ケーキは大せいこう。」

これは、大せいこうのにおい。」

おばあさんは、テーブルの上に、おたんじょう日よのテーブルかけをかけて、ナイフとフォークを出しました。

そのとき、ねこが、大きなこえで、なきながら、かえつてきました。ねこは、左手にやぶれたふくろと、右手にろうそくを五本、もって、いきました。ねこは、あんまりいそいだので、川の中にろうそくをおとして、きこしまったのです。

光村図書「だって、だってのおばあさん」より

一、おばあさんは、おたんじょう日に
なにをしましたか。

あさからケーキをつくりました。

二、おばあさんは、おたんじょう日のことをどうおもっているでしょう。あう ものに ○をつけましょう。

() じゅんびするのめんどくさいなあ。

（○）おたんじょう日　うれしいなあ。

（早くおわらないかなあ。

三、ねこは、どのように、ろうそくを
かいに いきましたか。

いそいで、いそいで、大いそぎで
いきました。

四、ろうそくを かいに いくとき、
ねこは どう おもっているでしょう。
あう ものに ○をつけましょう。

() 早く ケーキが たべたいな。

（い）やだなあ。

（○）おばあさんの ために がんばろう。

五、ねこは、どうして、なきながら か
えって きたのでしょうか。

あんまりいそいだので、川の中にろうそくをおとしてしまったから。

だってだつてのおばあさん③名まえ)

こたえ

○上の文しように よんで、下の もんだいに こたえましょう。

ねこは、おばあさんの かおを 見て、まえよりも もっと 大きな こえで なきました。

おばあさんは、がっかりしました。

「五本だつて、ないより ましき。さあ、ろうそくを、じょうずに ケーキに 立てておくれ。

五本だつて、ないより ましき。」

おばあさんは、あかりを けして、ろうそくに 火を つけました。あたりが あかるく なりました。

「おばあちゃん、かぞえて。」

と、ねこが いいました。

「一つ、二つ、三つ、四つ、五つ。ろうそくをかぞえると、ほんとうに おたんじょう日の きぶんになるわ。」

おばあさんは、もう一かい かぞえました。

「一さい、二さい、三さい、四さい、五さい。

五さいの おたんじょう日、おめでどう。」

と、じぶんでじぶんにおいおいをいいました。

ねこが、もう いちど かぞえました。

「一さい、二さい、三さい、四さい、五さい。

五さいの おたんじょう日、おめでどう。

おばあちゃん、ほんとに 五さいなの。」

「そうよ。だつて、ちゃんと ろうそくが 五本あるもの。ことし、わたし、五さいになったのよ。」

と いいました。

「ぼくと おんなじ。」

そして、ふたりは、おいしい ケーキを たべて、ねました。

光村図書「だつてだつてのおばあさん」より

一、ろうそくを 見た おばあさんは、どう いいましたか。あう ものに

○を つけましょう。

() もう 一かい かつてきて おくれ。

(○) 五本だつて、ないより ましき。

() なんて ねこは ないているのかな。

二、おばあさんが ろうそくの かずを

かぞえているとき、どんな ふうに

よんだら いいでしょう。あう もの

に ○を つけましょう。

(○) うれしそうに。

() かなしそうに。

() ざんねんそうに。

三、ねこは、なんさいでしょう。

() 五さい ()

四、ケーキを たべているときの、おば

あさんと ねこの かいわを そう

ぞうして、ふきだしに かいてみまし

よう。

おばあさん

やつぱり、おたんじょう日はいいねえ。
ケーキもおいしくできて、大まんぞく。

ふふー

ねこ

ろうそくをおとして、ごめんなさい。
でも、おばあちゃんが、よろこんでくれ
て、よかった。
など

だってだっての おばあさん④名まえ

こたえ

○上の文しように よんで、下の もんだいに こたえましょう。

つぎの あき、ねこは、ぼうしを かぶって、
ながぐつを はいて、さかなつりに 出かけよう
と しました。

「おばあちゃんも おいでよ。」

おばあさんは、

「だって、わたしは 五さいだもの。あら、そう
ね。五さいだから、さかなつりに いくわ。」

と いった、おばあさんは、ぼうしを かぶって、
ながぐつを はいて げんき よく、 ねこと
いっしょに 出かけました。

のはらは、とても ひろくて、やさしい かぜ
が ふいて いました。おばあさんは、もう な
がい こと、こんな とおくまで きた ことが
ありませんでした。花が、たくさん さいて い
ました。おばあさんは、花の においをくんくん
かぎながら、

「五さいって、なんだか ちようちょ みたい。」
ずいぶん あるいて、川に きました。ねこは、
びよんと 川を とびこえました。

「おばあちゃんも おいでよ。」
と、ねこは さそいました。

「だって、わたしは 五さいだもの。あら、そう
ね。五さいだから、わたしも とぶわ。」

おばあさんは、とびました。

おばあさんは、とびました。
五さいの おばあさんは、九十四ねんぶりに、
川を とびこしました。

「五さいって なんだか とりみたい。」

光村図書「だってだっての おばあさん」より

一、おたんじょう日の つぎの日に、
おばあさんは、なにをしましたか。

・(ぼうし)をかぶって、(ながぐつ)
をはいて、(げんきよく)、ねこと
いっしょに (出かけました)。

・花のにおいを(くんくん)かぎながら、
・(ずいぶんあるいて)、川にきました。
・九十四年ぶりに、

(川をとびこしました。)

二、おばあさんは、五さいを、なに
みたいと っていますか。わかる
ところを 二つ かきましよう。

「五さいって、なんだかちようちょ
みたい。」

「五さいって、なんだかとり
みたい。」

三、ねこが さかなつりに さそうと、
おばあさんは、なんと いましたか。

・おたんじょう日の まえの日
(プリントの①を見ましよう)

「だって、わたしは九十八だもの。
九十八のおばあさんがさかなつり
をしたら、にあわないわ。」

・おたんじょう日の つぎの日

「だって、わたしは五さいだもの。
あら、そうね。五さいだから、
さかなつりにいくわ。」

だって だっての おばあさん⑤名まえ

こたえ

○上の文しやうを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

むこうぎしに つきました。

そして、もっと 川下の、ひろい 川のほうまで
あるきました。ねこは、ズボンを ぬいで、川に
とびこみました。

「ああ、いい気もち。おばあちゃんもおいでよ。」
と さそいました。

「だって、わたしは五さいだもの。あら、そうね。
わたしも 入るわ。」

と いった、おばあさんも、ながぐつを ぬいで、
川に 入りました。

「あら、スカートが ぬれるわ。」

と いった、おばあさんは、スカートを もち上
げました。まえかけの 中に、さかなが 一ぴき
入って いました。

「あら、わたし、なんて、さかなつりが じょう
ずなんだろう。五さいって なんだか さかな
みたい。」

おばあさんが 立ち上がると、まえかけの ひ
もが、水の 中に 入りました。すると、まえか
けの ひもに、一ぴきずつ、さかなが ぶら下が
って きました。

「あら、あら、あら、わたし、なんて、
さかなつりが じょうずなんだろう。」

おばあさんは、すっかり おちゅうに なって
さかなを とりました。

「五さいって なんだか ねこみたい。」

ねこも、おばあさんも、たくさん さかなを
とりました。

「ねえ、わたし、どうして まえから 五さいに
ならなかったのかしら。らいねんのおたんじょ
う日にも、ろうそく五本、かってきておくれ。」
と、おばあさんは いいました。

「でも、おばあちゃん、五さいでも、ケーキ
つくるの じょうず。」

ねこは、すこし しんぱいそうに ききました。
光村図書「だって だっての おばあさん」より

一、おたんじょう日の つぎの日に、
おばあさんは、なにをしましたか。

・（**ながぐつ**）をぬいで、（**川**）に
入りました。

・おばあさんは、すっかり（**むちゅう**）
になって、（**さかな**）をとりました。

二、おばあさんは、五さいを、なに
みたいと いったいますか。わかる
ところを 二つ かきましよう。

「**五さいって、なんだかさかな
みたい。**」

「**五さいって、なんだかねこみたい。**」

三、らいねんの おたんじょう日に
ついて、おばあさんは、なんと いい
ましたか。

**らいねんのおたんじょう日にも、ろう
そく五本、かってきておくれ。**

四、おばあさんが、三のように いった
わけを かんがえましよう。

**五さいになって、いえのそとに出て
みて、とてもたのしかったから。**

など



() ねん () くみ () ばん

なまえ ()

1 コバトンは いろいろいたを ならべて 4つの かたちをつくりました。

(1) ㊤の いろいろいたが なんまいで できますか。(10点×4問)

(2) ならべかたが わかるように せんを かきましよう。(10点×4問)

2 ㊤の いろいろいたを ならべて すきな かたちを かきましよう。(20点)

点

㊤	①	2	まい	②	2	まい
③	4	まい	④	4	まい	
すきな かたちは ㊤の いろいろいたが なんまいで できましたか。						
						まい

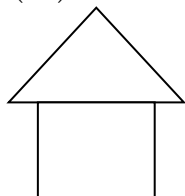


() ねん () くみ () ばん

なまえ ()

1 どんな かたちを つかって かいて いますか。(10 点×2 問)

(1)



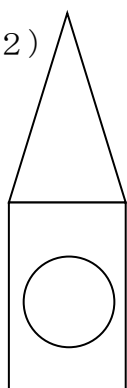
さんかく

と

しかく

点

(2)



さんかく

と

しかく

と

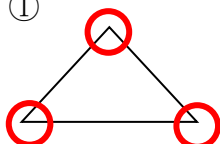
まる



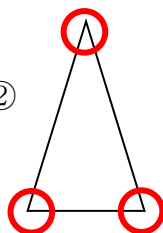
2 さんかくの かどに ついて しらべます。(10 点×4 問)

(1) かどに ○を つけましょう。

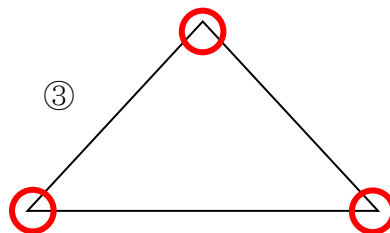
①



②



③



(2) さんかくの かどの かずは いくつ ありますか。

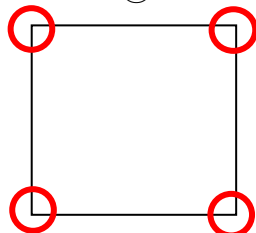
3

つ

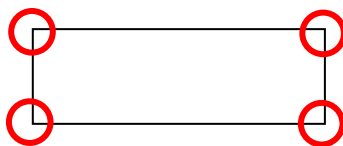
3 しかくの かどに ついて しらべます。(10 点×4 問)

(1) かどに ○を つけましょう。

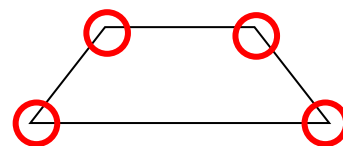
①



②



③



(2) しかくの かどの かずは いくつ ありますか。

4

つ



() ねん () くみ () ばん

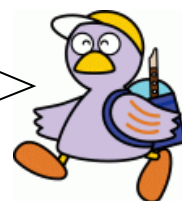
なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。

あきらは まえから 5ばんめに います。

あきらの うしろに 3にん います。

みんなで なんにん いますか。



点

(1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

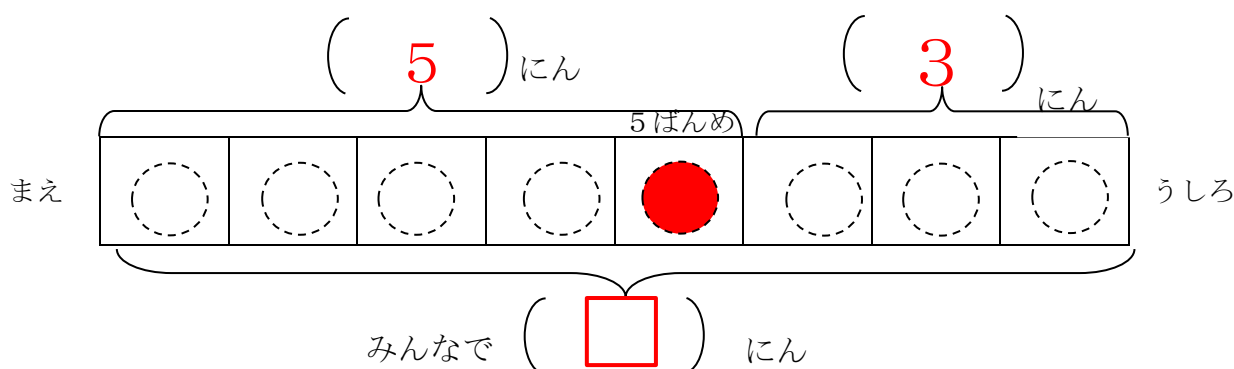
(3) もんだいを ずで あらわします。(10 点×4 問)

① あきらを えんぴつで ぬりましょう。

② わかっている ことを () に すうじで かきましょう。

③ きいている ことを () に □で かきましょう。

④ ひとの かずを ○で なぞって かぞえましょう。



(4) ずで かいた ことを おはなし します。□に かずを かいて () の なかの ただしい ことばを えらんで ○を つけましょう。(20 点)

あきらは まえから 5 ばんめに いるから

いちばん まえの ひとから あきらさん まだが 5 にん です。

そのうしろは 3 にん です。

みんなで なんにん いるか きいて いるので、(たします ひきます)。

(5) しきと こたえを かきましょう。(20 点)

しき

$$5 + 3 = 8$$

こたえ

8 人



() ねん () くみ () ばん

なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。



みどりさんの れつは ぜんいんで 7 にん います。

みどりさんは まえから 3 ばんめに います。

みどりさんの うしろには なんにん いますか。

点

(1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(3) もんだいを ずで あらわします。(10 点×4 問)

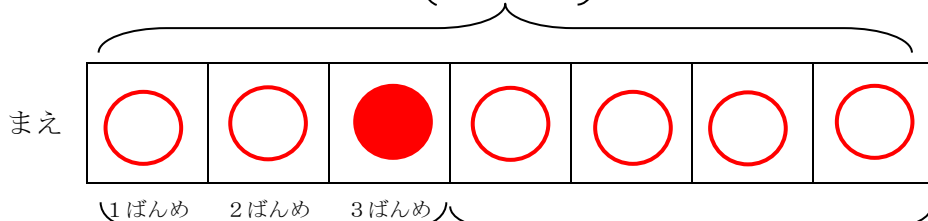
① ひとのかずを ○で かきましょう。

② みどりさんを ぬりましょう。

③ わかっている かずを () に すうじで かきましょう。

④ きいている ことを () に □で かきましょう。

ぜんいんで (7) にん



(3) にん

() にん

(4) ずで かいた ことを おはなし します。□に かずを かいて () の
なかの ただしい ことばを えらんで ○を つけましょう。(20 点)

みどりさんのれつは ぜんいんで 7 にん います。

みどりさんは まえから 3 ばんめ なので

みどりさんまでの 3 にんを (たすと ひくと) みどりさんの
うしろに なんにん いるかが わかります。

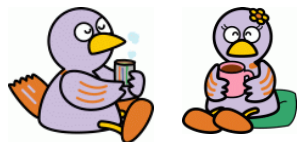
(5) しきと こたえを かきましょう。(20 点)

しき

$$7 - 3 = 4$$

こたえ

4 人



() ねん () くみ () ばん

なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。

6にんに おにぎりを 1こずつ あげます。

おにぎりは あと 3こ あります。

おにぎりは ぜんぶで なんこ ありますか。



点

(1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10点)

(2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10点)

(3) もんだいを ずで あらわします。(10点×4問)

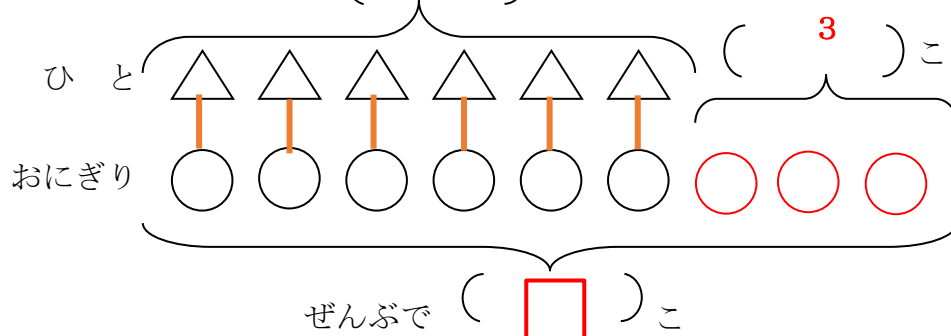
① △と○を せんで むすびましょう。

② ずの つづきを かきましょう。

③ わかっている かずを () に すうじで かきましょう。

④ きいている ことを () に □で かきましょう。

(6) にん



△と○を せんで
むずぶと
あげる おにぎりの
かずが わかるね。



(4) ずで かいた ことを おはなし しましょう。(20点)

6にんに あげる **おにぎり** の かずは **6** こ です。

おにぎりは あと **3** こ あります。

おにぎりは ぜんぶで なんこ あるか きいて いるので、

しきは **$6 + 3 = 9$** です。こたえは **9こ** です。

2 もんだいを よんで しきと こたえを かきましょう。(20点)

8にんに あめを 1こずつ あげました。まだ 4こ あります。

あめは なんこ ありましたか。

しき **$8 + 4 = 12$**

こたえ **12こ**

なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。

おだんごが 7こ あります。4にんが 1こずつ たべます。

おだんごは なんこ のこりますか。

点

(1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

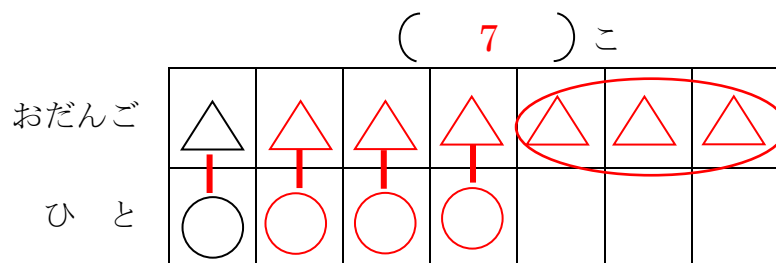
(3) ずを かいて かんがえます。

① おだんごの かずを △ ひとの かずを ○ にして つづきを かきましょう。(10 点)

② わかっている かずを () に すうじで かきましょう。(10 点)

③ △と○を せんで むすびましょう。(10 点)

④ どこが こたえに なりますか。 ○で かこみましょう。(10 点)



△と○を せんで
むすぶと
たべる おだんごの
かずが わかるね。

(4) にん

(4) ずで かいた ことを おはなし しましょう。(10 点)

はじめに おだんごは 7 こ あります。

4にんが 1こずつ たべるので おだんご の かず 4 こを ひきます。

だから おだんごは 3 こ のこります。

(5) しきと こたえを かきましょう。(10 点)

しき

$$7 - 4 = 3$$

こたえ

3 こ

2 もんだいを よんで しきと こたえを かきましょう。(20 点)

みかんが 12こ あります。

9にんの こどもに 1こずつ あげると、なんこ のこりますか。

しき

$$12 - 9 = 3$$

こたえ

3 こ

なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。

カルタたいかいを しました。

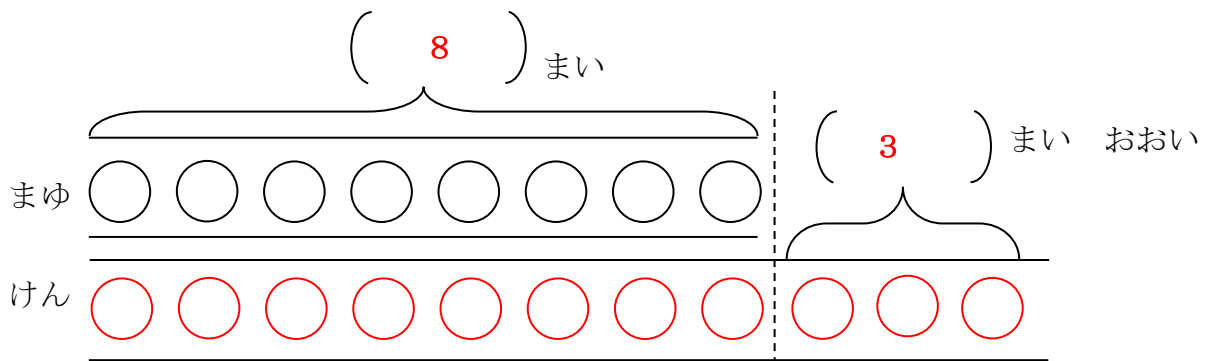
まゆさんは 8まい とりました。

けんさんは まゆさんより 3まい おおく とったそうです。

けんさんは なんまい とりましたか。

点

- (1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)
 (2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)
 (3) けんさんが とった カルタの かずを ○で かきましょう。(20 点)
 (4) わかっている かずをしたの ずの () に すうじで かきましょう。(10 点)



(5) ずにかいた ことを おはなし しましょう。(20 点)

けんさんが とった カルタの かずは まゆさんと おなじ

8

まい より

3

まい おおいです。だから しきは

$8 + 3 = 11$

です。こたえは

11まい

です。

(6) ずの どころが こたえに なりますか。○で かこんで たしかめ しましょう。(10 点)

2 もんだいを よんで しきと こたえを かきましょう。(20 点)

おんなのこが 5にん あそんでいます。おとこのこは おんなのこより 4にん おおいです。 おとこのこは なんにん あそんで いますか。

しき

$5 + 4 = 9$

こたえ

9にん

なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。

なわとびを しました。

さとしさんは 14かい とびました。

みゆきさんは さとしさんより 5かい すくなかったそうです。

みゆきさんは なんかい とびましたか。

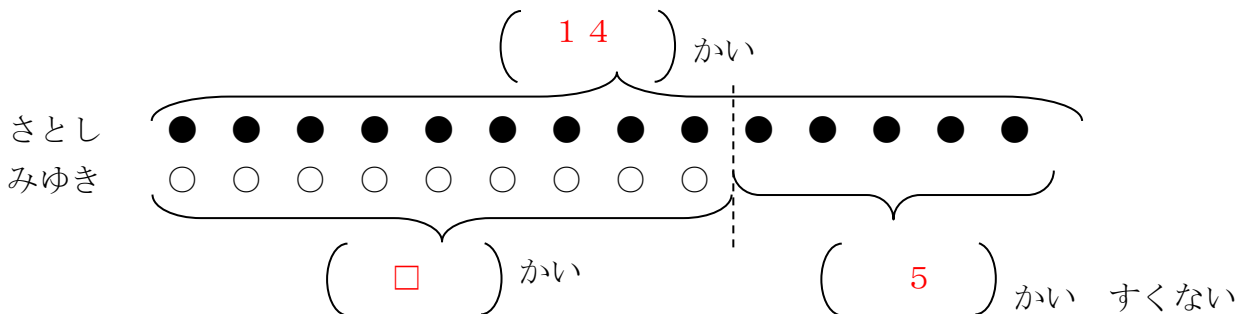
点

(1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(3) わかっている かずを したの ずの () に すうじで かきましょう。(10 点)

(4) きいている ことを したの ずの () に □で かきましょう。(10 点)



(5) ずにかいた ことを おはなし しましょう。(20 点)

みゆきさんが とんだ かずは さとしさんの

14

かい より

5

かい すくない です。

だから しきは

$14 - 5 = 9$

です。こたえは

9かい

です。

(6) つぎの ぶんが ただしければ ○を まちがって いたら ×を つけましょう。(20 点)

() みゆきさんが とんだ かずは さとしさんより すくないので
ひきざんに なります。

() さとしさんが とんだ かずは みゆきさんが とんだ かず より
5かい おおい です。

2 もんだいを よんで しきと こたえを かきましょう。(20 点)

つくえが 11こ あります。いすは つくえより 5こ すくないです。

いすは なんこ ありますか。

しき

$11 - 5 = 6$

こたえ

6こ

なまえ ()

1 つぎの もんだいを よんで こたえましょう。

きっぷうりばで ひとが ならんで います。

さきさんの まえに 3にん います。

さきさんの うしろに 5にん います。

ぜんぶで なんにん ならんで いますか。

点

(1) もんだいの わかっている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

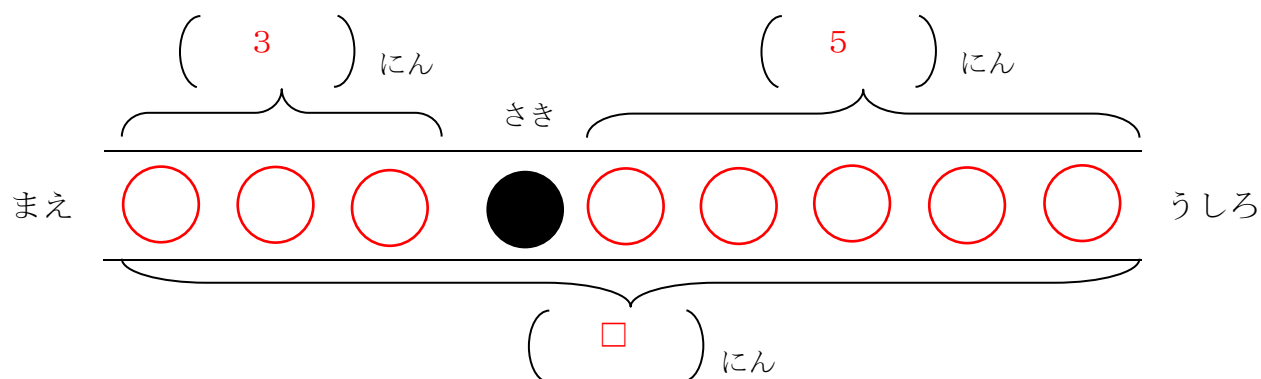
(2) もんだいの きいている ことに _____ を ひきましょう。(10 点)

(3) ずを かいて かんがえましょう。

①さきさんは ●です。ならんで いる ひとの かずを ○で かきましょう。(20 点)

②わかっている かずを () に すうじで かきましょう。(10 点)

③きいている ことを () に □で かきましょう。(10 点)



(4) コバトンはかせは しきに ついて つぎの ように おはなし しました。

3 + 5 = 8 と いう しきは まちがって いるよ。



ずを みて この しきが まちがって いる わけを おはなし しましょう。(20 点)

わけ

3 + 5 だと、さきさんをかぞえていないことになるから。



(5) ただしい しきと こたえを かきましょう。(20 点)

しき

$$3 + 1 + 5 = 9$$

$$3 + 5 + 1 = 9$$

どちらでもいいですよ。

こたえ

9 人

なまえ ()

1 こどもが 3 にん います。

いちごを ひとりに 2 こずつ わけます。

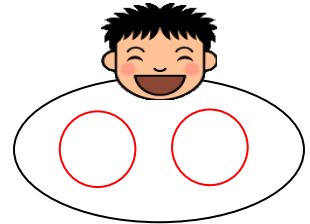
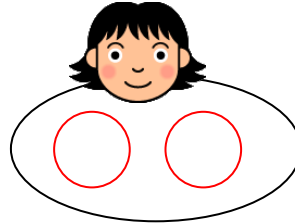
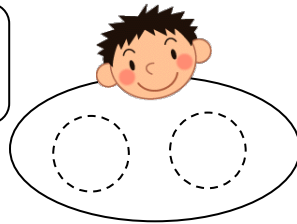
いちごは ぜんぶで なんこ いますか。



点

(1) いちごを ひとりに 2 こずつ わける ずを かきしょう。(10 点×3)

いちごを○で
かきましよう。



(2) しきに かいて こたえを たしかめましよう。(10 点×2 問)

2

+

2

+

2

=

6

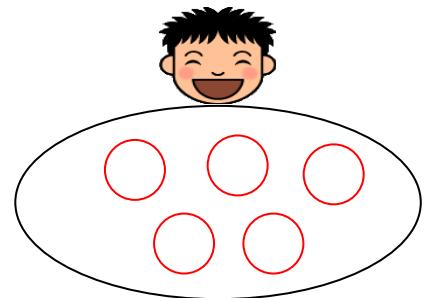
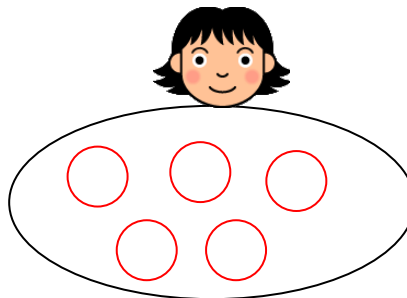
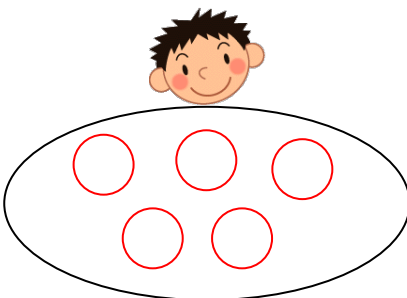
6

こ

2 3 にんの こどもに ビーだまを 5 こずつ あげます。

みんなで なんこ いますか。

(1) ビーだまを ひとりに 5 こずつ わける ずを かきましよう。(10 点×3 問)



(2) しきに かいて こたえを たしかめましよう。(20 点)

ずを みて しきを かんがえよう。

し き

$$5 + 5 + 5 = 15$$

こたえ

15 こ

